

〒030-0861

東青地域県民局地域農林水産部 青森市長島二丁目10番3号 青森フコク生命ビル6階
農業普及振興室

TEL: 017-734-9961 FAX: 017-734-8305

令和3年度のスタートにあたって

農業普及振興室長 長谷川 重幸

当農業普及振興室2年目となります。今年度もよろしくお願ひします。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により講習会も例年どおりには行うことができませんでしたが、関係機関・団体の皆様方の御協力のもと、

- 1 青天の霹靂は単収9.2俵と前年度より増収
- 2 ミニトマトは10戸で単収5トンを超え、ほぼ前年度並みを確保
- 3 ぶどう「シャインマスカット」の栽培面積が前年の1.5haから1.9haに拡大
- 4 管内畜産で初の農福連携の取組スタート
- 5 担い手育成を支援する農業次世代人材投資資金の対象者が前年度より9名増加

などまずまずの成果を上げることができましたことにお礼申し上げます。



1粒30g越えの房が散見(シャインマスカット)



みそ加工の様子(外ヶ浜町)

本年度も、引き続き①「青天の霹靂」の安定生産と食味のレベルアップ、②トマト指定産地の生産力向上、③農山漁村女性の意欲・能力を活かした起業活動の推進、④地域経営を担う集落営農組織等の法人化と経営改善支援の重点4課題のほか、各作物の生産指導や担い手育成など18課題に取り組み、農家所得の向上と人口減少に対応した共助・共存の取組など地域を元気にするために活動して参りますので、引き続き皆様方の御支援・御協力をよろしくお願ひいたします。

若手農業者出演のPR動画を公開中!!

当室では、若手農業者に協力いただき、令和元年度から2か年で、東青地域の農業・農村の魅力をPRする動画を6本制作しました。

YouTubeチャンネル「青森県東青地域県民局地域農林水産部」で公開していますのでぜひ御覧ください。



YouTube動画は
こちらから➡



東青地域たまねぎの里づくり支援事業【継続 R2～3年】

令和2年度から始まったこの事業では、「たまねぎ」の産地化による農業所得の拡大を目指し、地域に適合した栽培技術の確立による単収向上や実需者・地域住民等に対する認知度の向上を図ることとしました。

令和2年度は、①奥内・蓬田たまねぎ生産組合、JA青森、青森市、蓬田村、地方独立行政法人青森県産業技術センター、県民局等からなるプロジェクトチームを設置し、支援体制を整備、②最適な施肥体系を確立するため、青森市奥内地区と蓬田村郷沢地区に秋定植栽培技術実証ほを設



定植作業(令和2年10月青森市奥内)



現地検討会(令和2年11月蓬田村郷沢)

置し、現地検討会を開催、③春定植作型の栽培ごよみを作成し、関係機関、生産者団体等へ配布しました。

令和3年度は、①プロジェクトチーム連絡会議の開催による産地化に向けた検討、②令和2年度の秋に設置した実証ほでの現地検討会及び成績検討会の開催、③実証ほの結果を基に秋定植作型の栽培ごよみを作成、④地域のイベント等におけるPR活動、地域住民等を対象とした収穫体験・試食会の実施、などに取り組みます。

いいんでねえが「ふんちや」平内町藤沢活性化協議会

国道4号線を青森市から平内町に入り、水田地帯をしばらく走ると、助手席の車窓にはコンビニ駐車場に隣接する農産物直売所「ふんちや」の小さな看板が見えてきます。6月から11月の限られた営業期間ですが、地元で採れた野菜や山菜など滋味・滋養あふれる商品が並び、基本「100円」という価格設定もあってか、昼過ぎには空き棚も増えてくる人気店です。

この「ふんちや」を設置運営しているのが「藤沢活性化協議会」、自分たちが生まれ育った藤沢地区を元気にしたいという思いのもとに平成28年に設立されました。住民の自主参加のもとで「やれる人で・やれることから・無理をしないで・楽しく」を合言葉に、これまで、直売所の開設・運営、獅子舞や繭玉づくり、大学生のインターンシップ受入を通じた世代間交流などによる地域活性化に取り組んできました。



直売所「ふんちや」

昨年はコロナ禍の中で思ったような協議会の活動はできませんでしたが、直売所向けの新たな特産品や加工品開発など、みんなで出し合った沢山のアイデアが今か今かと出番を待っています。



ワークショップ風景

農業普及振興室では、平内町・地元自治会・弘前大学等と連携しながら、協議会が取り組む「高齢者が幸せを感じ、支え合う仕組みづくり」や「子供たちが安心して遊びまわれる地域づくり」などの活動を、これからもサポートしていくこととしています。

新 ViC・ウーマン・青年農業士の紹介

ViC・ウーマン

ふなはし
船橋 かおりさん(平内町)

夫、義父母と一緒にホタテ養殖業を営み、主に市場出荷用の活貝の箱詰めを担当しています。

また、平内町漁協女性部に加入し、地域の環境整備活動等に取り組んでいます。まだ活動経験は浅いですが、今後は、ホタテのPR活動や地域のコミュニティづくり、同世代の仲間づくりなど、女性が活躍できる取組に高い意欲を示しています。



きのた じゅんこ
木野田 順子さん(今別町)

夫・義母と一緒にホタテ養殖業を営み、水揚げのほか養殖かごの洗浄や修理などを担当しています。

地区婦人会と外ヶ浜漁協石浜婦人部に加入し、環境整備や漁の安全祈願行事への協力などに取り組み、住み良い地域づくりに貢献しています。また、趣味を活かして、町のイベントに参加するなど、地域の活性化につながる活動にも取り組んでいます。



青年農業士

なら すぐる
奈良 卓さん(青森市)

県外の会社勤務を経て、平成26年に蓬田村に農地を取得し就農しました。

非農家出身であることから、就農前に農業経営士の下で研修し、栽培技術と経営管理等を習得しました。

現在、JA青森ミニトマト部会や蓬田村たまねぎ生産組合等に所属しているほか、4Hクラブにも加入し、組織活動に積極的に取り組んでいます。



いしまる たくみ
石丸 拓海さん(青森市)

平成17年に農業法人に就農しオペレーターとして稲作に携わっています。

令和2年から同法人の取締役となり水田の管理責任者として農業経営に参画しています。現在、JA青森稲作部会や青年部、4Hクラブなどで活動し、地域との調和を大切にしながら農村地域を維持していこうと励んでいます。



STOP! 農作業事故

安全確認をもう一度!



- ◆慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- ◆必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。自分を過信せず、無理のない作業を行いましょう。
- ◆一人での作業は避け、やむを得ず一人で行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- ◆家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。
- ◆万一の事故に備えて、労災保険や農機具共済等の保険に加入しましょう。

山菜取り

「目先の収穫より

安全第一!」



「あなたです 森を火事から 守るのは」

6月10日までは

「山火事防止運動強調期間」です。



農業普及振興室 職員紹介

農業普及振興室長



長谷川 重幸
【室の総括】

企画班



副室長 金 知康
【班の総括】

経営・担い手班



副室長 山田 実
【班の総括】

生産班



副室長 久保田 稔
【班の総括】



若宮 通子
食品表示、鳥獣被害対策



白石 一志
放射モニタリング、広報



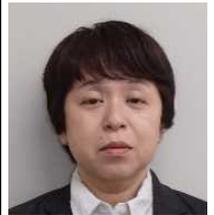
神 紀子
女性の経営参画、組織活動



木村 幸子
女性起業支援
6次産業化



對馬 美子
経営所得安定対策、山村振興



渋谷 恵美子
野菜、冬の農業



岩淵 貴子
健康な土づくり
エコファーマー
食育



三崎 さおり
産地パワーアップ事業、農地中間管理事業



山内 一肇
地域経営
経営改善
法人化



小田桐 理佳
認定農業者
強い農業・担い手づくり支援



小笠原 宜弘
果樹、りんご
経営安定対策
農林水産業災害



熊井 伸賢
花き、廃プラスチック適正処理



立崎 泰正
特定家畜伝染病
酪農振興



伊藤 雄亮
肉用牛振興
養蜂振興



讃岐 温子
育児休業中



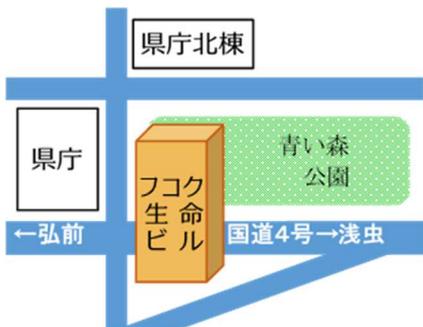
佐藤 まゆみ
農作業安全



井口 慎太郎
稲作、畑作
水稻新品種



佐藤 有紗
果樹
農業気象



当農業普及振興室は、県庁の筋向いの「青森フコク生命ビル」の6階にあります。駐車場は、県庁北棟地下をご利用ください。



藤田 正男
野菜、野菜指定産地、あおもり海道そば